

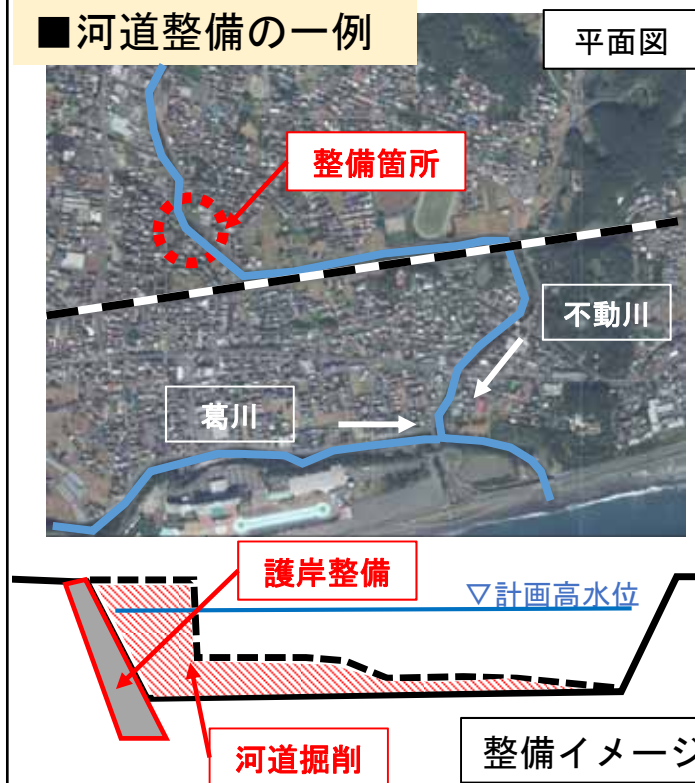
流域治水プロジェクトの取組事例集 (葛川水系)

(葛川流域治水協議会)

- 葛川水系においては、「葛川水系河川整備計画（平成31年3月）」に基づき、時間雨量約50mmの降雨による洪水を安全に流下させるため、河道整備（河道掘削、護岸整備、橋梁架替等）を進めている。

実施状況

■河道整備の一例



整備前



整備後

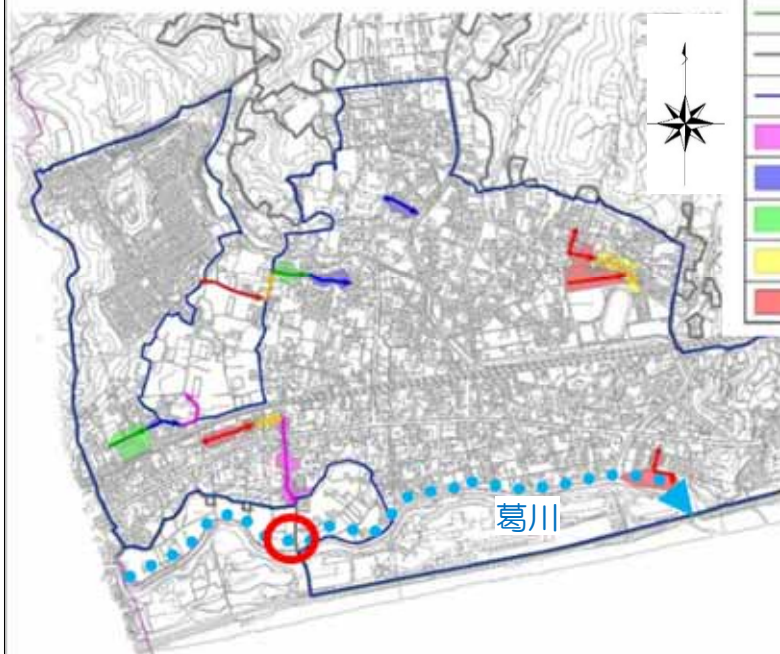
対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
河川改修事業による河道整備	神奈川県			

葛川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県、平塚市

- 葛川水系においては、「相模川流域関連大磯公共下水道事業計画（令和3年3月）」に基づき、時間雨量約55mmの規模の洪水を安全に流下させるため、雨水管の整備を進めている。

実施状況

事業進捗図



凡 例	
	行政区域
	市街化区域
	全体計画区域
	事業認可区域
	令和3年度整備区域
	令和4年度整備区域
	令和5年度整備区域
	令和6年度整備区域
	令和7年度整備区域



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
雨水排水施設の整備	大磯町	→		

葛川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
大磯町、平塚市、秦野市、二宮町

- 相模湾では、河川からの土砂供給量の減少などにより、海岸侵食が進んだことから、将来に渡る「美しいなぎさの継承」を目指し、平成23年3月に策定した相模湾沿岸海岸侵食対策計画（令和3年3月改定）に基づき、砂浜の回復・保全を図るため、養浜を主体とした海岸侵食対策に取り組んでいる。
- 葛川流域においては、大磯海岸及び二宮海岸を対象に、継続的に養浜を実施している。

実施状況

■ 大磯海岸、二宮海岸における侵食対策



■ 海岸位置図



■ 侵食対策状況(養浜)



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
海岸保全施設の整備 や侵食対策の推進	神奈川県			

葛川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県

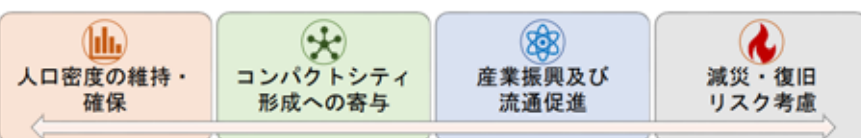
リスクが高い区域における立地抑制 【立地適正化計画の推進】

被害対象を
減少させる
ための対策

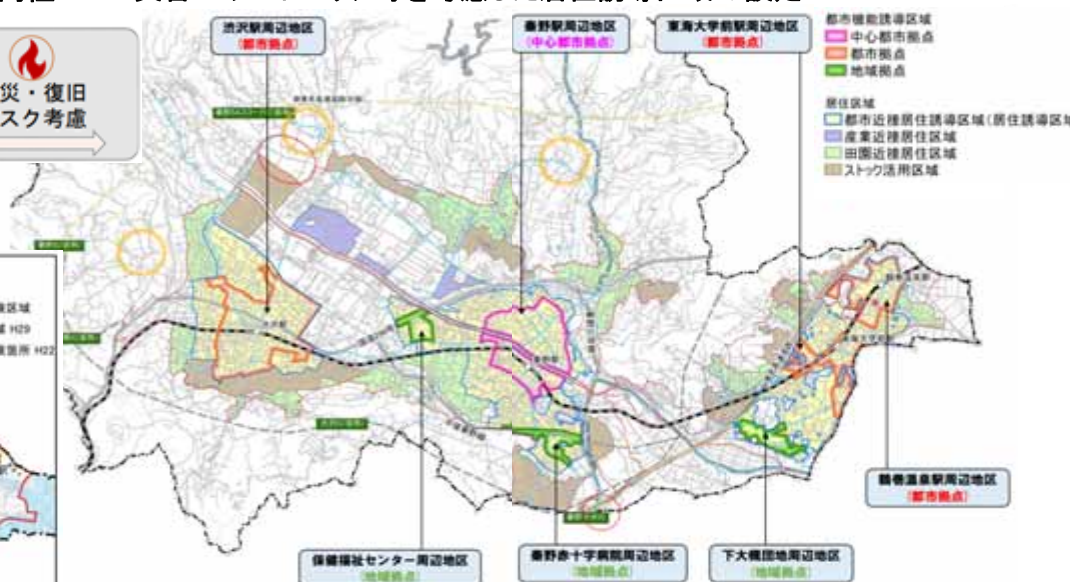
- 秦野市では、人口減少・超高齢社会を踏まえた持続可能なまちづくりに取り組むため、生活に必要な機能を都市の拠点周辺に誘導するとともに、交通ネットワークによりその拠点間の連携を図るコンパクト・プラス・ネットワーク型の都市構造を目指し、令和2年4月に立地適正化計画を策定した。
- 近年、気候変動の影響等により自然災害が頻発・激甚化している中、災害ハザードエリアにおける開発抑制、移転の促進など、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」の作成等に向けて取り組む。

取 組 内 容

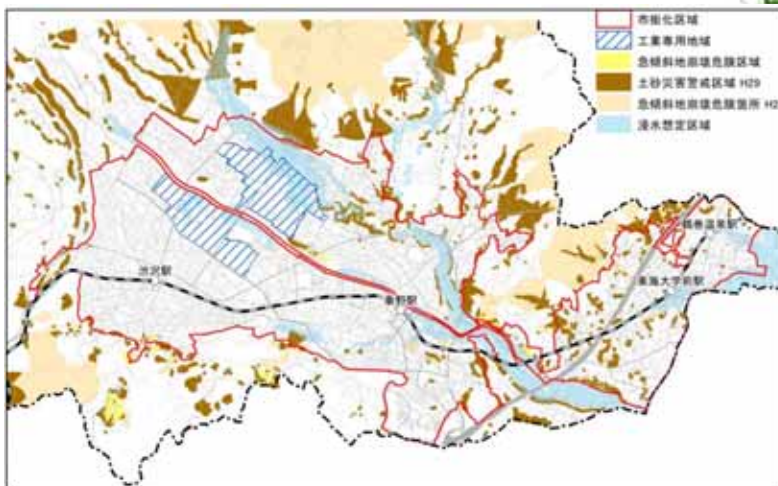
■市民生活を守るために将来目指すべき住環境形成の方向性



■災害ハザードエリア等を考慮した居住誘導区域の設定



■市内の災害ハザードエリア



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
立地適正化計画の推進	秦野市			

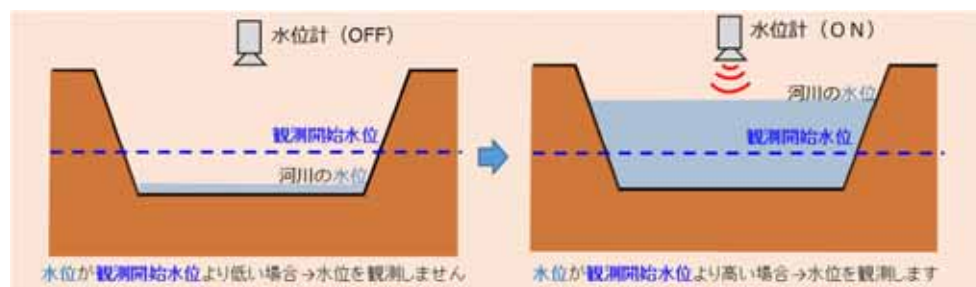
葛川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
秦野市、平塚市

- 住民の適切な避難判断のための水位情報提供を目的に、これまで水位計の無かった箇所でも水位把握できるよう、洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計を設置することで、出水時の水位観測により避難体制の強化を図る。

取組内容

■危機管理型水位計とは

- ・ 洪水が発生した際に、河川周辺の住民の皆様が避難する際に、役立てていただくために設置する水位計。
- ・ 河川が未整備のため注意を要する箇所や、学校や病院など、重要な施設が周辺にある箇所に設置。



■県ホームページから水位状況を確認することが可能



■危機管理型水位計の設置事例



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
危機管理型水位計・簡易河川監視カメラの設置	神奈川県			

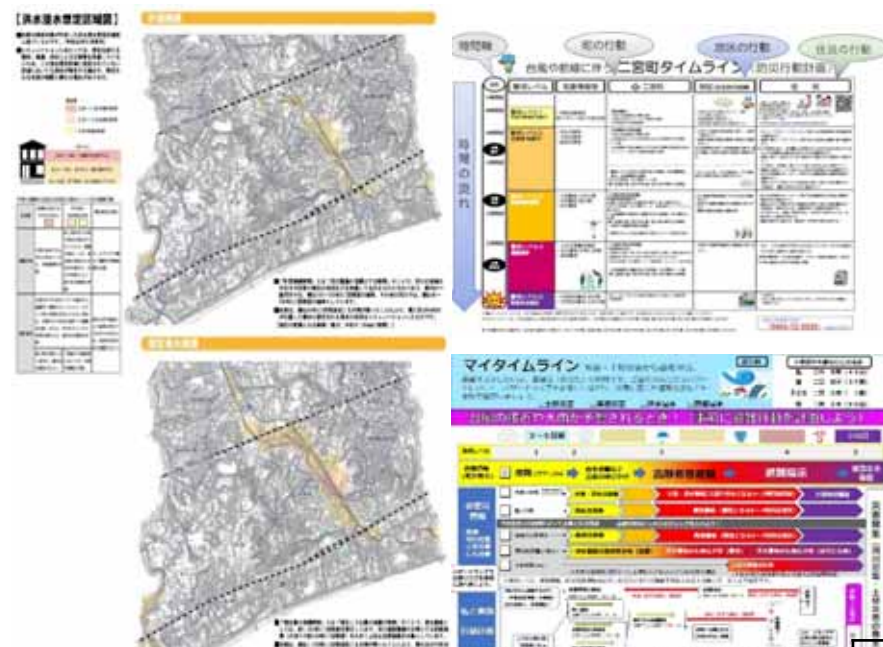
葛川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県

避難体制等の強化 【マイ・タイムラインの取組推進】

被害の軽減、
早期復旧・復興
のための対策

- マイ・タイムラインとは、洪水などの災害が発生した際に、「いつ」「何をするのか」を整理した個人の防災計画であり、住民一人ひとりがとる防災行動を時系列に整理し、あらかじめ取りまとめておくことで、避難判断のサポートツールとして役立つものである。
- 二宮町では、町内の各地区で実施される自主防災訓練や、町主催で実施する地区の防災指導員を対象とした研修会等により、マイタイムラインや洪水浸水ハザードマップなどの説明を実施している。

取 組 内 容



マイタイムラインや
洪水浸水ハザードマップの説明資料



防災指導員研修会の状況

対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
マイタイムラインの取組推進	二宮町			

葛川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
二宮町、平塚市、秦野市、大磯町、中井町

避難体制等の強化 【タイムラインの検証・見直し】

被害の軽減、
早期復旧・復興
のための対策

- 令和4年9月に発生した、台風第15号（2022年9月23日～24日）に対し、町はタイムラインに沿って警戒態勢等を取り、気象情報により今後の状況判断を考察するなどの対応を行った。また、後日、気象庁担当者と町の相互連携について振り返りを行い、認識を統一した。

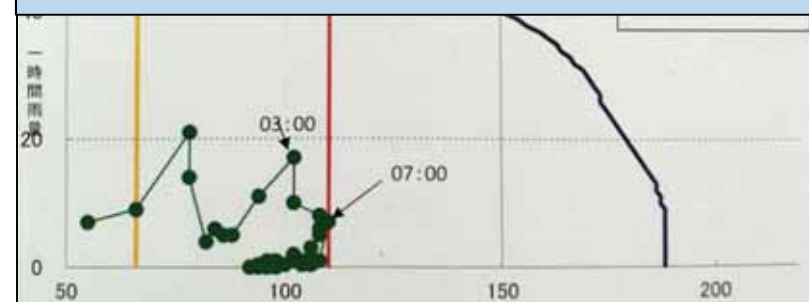
取組内容

- 台風の接近に伴い、職員による警戒会議の実施、災害対応に向けた職員の配置など、上陸前日から町のタイムラインに沿って、災害発生への対応を行った。
- 後日、気象庁との振り返りにより、災害警戒情報の発表に伴う地図表示条件等について再確認し、災害対応能力の向上を図った。

令和4年 台風15号に関する気象情報



スネークライン



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
タイムラインの検証・見直し	中井町			

葛川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
中井町、平塚市、秦野市、大磯町、二宮町